

5月12日

5月11日

5月1日

4月 0日

4月28日

2026年5月12日(火曜日)第7563号

※複製などによる第三者への提供は著作権の侵害になります。

## 中東情勢による医薬品等影響報告—道議会保健福祉委

道議会保健福祉委員会が1日開かれ、中東情勢の影響を受ける医薬品等の確保について質疑が行われた。道は関係団体と十分な連携を図りながら流通状況を把握し、適時適切な対応を図っていくとした上で、当面の必要量に見合う量の受注や、過剰な発注を行わないよう医療機関や流通事業者等に呼びかけを行ったことを報告した。

国の情報提供窓口には4月7日時点でメーカーや卸業1,11事業者、医療機関6,09施設から相談が寄せられ、影響があると判断されたのが64品目あり、このうち解決済みが26品目、対応検討中が3品目となっていると紹介。足元の主な対応として、国が感染症パンデミック用に備蓄している医療用手袋5,000万枚を医療機関向けに販売する見込みで、今後改善可能な整備がなされる予定とした。

一方、道では4月16日に道医など医療関係者の情報交換会議を開催。三師会や病院協会から「手袋やガウンなどの医療材料の不足、ガソリン価格上昇などが経営を圧迫し始めている」医薬品卸売業や医療機器販売業等は「納期が遅くなっており、今後値上げも想定される」医療用ガスは「滅菌用エチレンガスは半年程度の必要量が確保されているものの、MRI装置冷却等に用いるヘリウムガスは米国から輸入されるものを各社が融通し合って対応している」製薬業からは「医薬品の原料や容器の調達が難しくなっており、6月にも欠品の可能性がある」などの情報提供がなされたと説明した。

## ナフサ、人命に関わるものを最優先に配分—参院決算委

11日に開かれた参議院決算委員会で、中東情勢で目詰まりが起きているナフサ供給について質疑が行われた。ナフサを使用する抗生物質等の供給懸念について、上野賢一郎厚生労働相は、「高市早苗首相から強い意識を持って、目詰まりゼロに全力を尽くすよう指示を得ている」とした上で、経済産業省と密に連携し、人命に関わるものを最優先に配分する考えのもと、関係事業者に対し適切に対応していくとした。

医療分野の物価高への対応について高市首相は、「物価が2026年度診療報酬改定時の見通しから大きく変動し、医療機関などの経営状況に支障が及ぶ場合には、7年度予算編成で必要な調整を行う」と答弁した。

### 医師数の適正化、地域・診療科間の偏在対策と併せ推進

4月の財政制度審議会における医学部定員の計画的削減の提言について、上野厚生労働相は、医師の地域・診療科間の偏在対策は非常に大切な課題とし、適正化と併せ偏在対策も進めていく考えを示した。

## 札幌白石記念、道内初のアフェラシステム導入

札幌市白石区の札幌白石記念病院(野中雅理事長、道井洋吏院長・103床)は、道内初となる最新の心房細動治療システム「アフェラシステム(メトロニック)」を導入した。

同システムはマッピング用、治療用カテーテル一体型で交換作業不要。事後評価を行う際も、心臓内にカテーテルを留置したまま必要に応じて即座に追加治療でき、安定したエネルギー伝達で肺静脈以外の上大静脈、左房障壁などに対しても精密な治療が可能になった。3Dマップも併用可能で操作性に優れていることで経験の浅い若手医師でも早期に習得でき、一定の治療成績を収めやすい点も大きなメリットとなる。

4月運用開始から2週間余りで24症例、不整脈の9割以上を同システムのみで完結。宮本憲次郎院長代理・不整脈治療センター長は「現時点で、不整脈治療の第一選択に成り得る」と信頼を寄せている。

## 美瑛町立、情報誌発行を開始

美瑛町立病院(村住和彦院長・48床)は、町民向けに医療・院内情報を掲載した情報誌の発行を開始した。これまでは町の広報誌で情報発信を行っていたが、4月から病床数を削減し、地域包括ケア病床の開設に向けた病棟機能の転換を図るなど、段階的に体制移行を進めることを機に、より身近な医療機関に感じてもらうためのツールとして作成した。ホームページで公開するほか、院内でも配布している。発行は年4回程度を予定。

## 心不全再入院予防継続管理料、疑義解釈を通知

厚生労働省は、2026年度診療報酬改定で新設された「心不全再入院予防継続管理料」について、2または3の算定患者が再入院となった場合、1の再度算定が可能。1の算定患者が退院し、その同一月に、入院していた医療機関以外の医療機関(特別の関係にある医療機関を除く)で2の算定が可能。また2および3で、6回目までと7回目以降で点数が分かれるが、回数は患者単位として考え、紹介等で別の医療機関を受診した場合は通算される、3の研修会参加は届出日から1年以内に必ず参加する必要があるとの疑義解釈その5を示した。

生活習慣病管理料(Ⅱ)に新設された眼科医療機関連携強化加算と歯科医療機関連携強化加算において、紹介に当たって、同月であっても診療情報提供料(Ⅰ)を併せて算定が可能。施設入居時等医学総合管理料について、情報通信機器を用いた診療を行う在宅診療計画を策定し、当該診療を実施した場合、看護師等遠隔診療の検査実施料、注射実施料同処置実施料はそれぞれ別途算定できる。ただし、在宅時医学総合管理料および施設入居時等医学総合管理料に包括されている処置は算定できないとした。

「産科管理加算」では、助産や産科患者・新生児のケアに当たって、母子保健事業や福祉関係機関等の担当者に地域連携業務を担う情報共有等の連携が含まれている場合も、部門等において業務に従事した経験に該当するとしている。「病棟薬剤業務実施加算」について1か2のどちらかしか届出できない。3は、1または2とは別に届出が可能とした。

## 旭医大人事、助教に大竹氏を採用

旭医大は5月1日付の人事で、内科(消化器)助教に大竹晋氏を採用する人事を発表した。その他は次の通り。

◆採用(4月20日)▼外科学講座(心臓大血管外科学分野)助教=伊勢隼人◆退職(4月30日)▼リハビリテーション科助教=及川欧◆採用(1日)▼内科(消化器)助教兼予防医学講座特任助教=坂谷慧▼内科(消化器)助教=堂腰達矢▼地域連携医学講座特任講師=嘉島伸▼消化器内視鏡医学講座特任助教=上野伸展▼予防医学講座特任助教=村上雄紀

# 概算医療費25年度4～11月、2.4%増の32.6兆円

厚生労働省が公表した概算医療費動向によると、2025年4～11月の医療費は前年同期比2.4%増の32.6兆円となった。医療保険適用の75歳未満は1.4%増の17.5兆円、75歳以上は3.9%増の13.4兆円だった。

25年度の月ごとの伸び率推移は、4月3.1%増、5月2.2%増、6月3.8%増、7月1.2%増、8月0.8%増、9月4.8%増、10月3.0%増、11月0.8%増。25年度4～11月の診療種別をみると、内科入院が2.6%増、内科入院1.2%増、歯科が2.9%増、調剤が3.4%増。11月単月では、それぞれ1.1%増、0.1%減、1.8%減、2.0%増だった。

## 本道の伸び率は全国より0.5ポイント低い1.9%増

本道の25年度4～11月伸び率は1.9%増で、全国より0.5ポイント下回った。内科入院0.1ポイント高い2.7%増、内科入院外0.9ポイント低い0.3%増、歯科1.4ポイント低い1.5%増、調剤1.0ポイント低い2.4%増、訪問看護療養3.1ポイント低い11.1%増だった。

# 感染症動向第18週、室蘭で水痘が5件

感染症動向調査週報第18週(4月27～5月3日)は、水痘の定点値が室蘭保健所管内で今年道内最高値の5件に達し、2件の旭川市とともに警報が発令されている。全数把握疾患の梅毒は8件が報告され、累計169件となった。定点把握疾患の動向は下表の通り(上段は報告数、下段は定点当たりの数、かっこ内は前週)。

	道内	
	札幌市	
急性呼吸器感染症	2330 ( 1773 ) 54.19 ( 41.23 )	8682 ( 7437 ) 52.30 ( 45.07 )
インフルエンザ (鳥インフルエンザ等を除く)	103 ( 117 ) 2.4 ( 2.72 )	332 ( 460 ) 2.00 ( 2.79 )
C O V I D - 19	26 ( 6 ) 0.60 ( 0.14 )	97 ( 78 ) 0.58 ( 0.47 )
R S ウイルス感染症	6 ( 7 ) 0.19 ( 0.23 )	37 ( 42 ) 0.37 ( 0.42 )
咽頭結膜熱	6 ( 11 ) 0.19 ( 0.35 )	30 ( 21 ) 0.30 ( 0.21 )
A 群溶血性 レンザ球菌咽頭炎	313 ( 239 ) 10.10 ( 7.71 )	655 ( 553 ) 6.62 ( 5.59 )
感染性胃腸炎	223 ( 194 ) 7.19 ( 6.26 )	437 ( 416 ) 4.41 ( 4.20 )
水痘	16 ( 13 ) 0.52 ( 0.42 )	41 ( 33 ) 0.41 ( 0.33 )
手足口病	1 ( 2 ) 0.03 ( 0.06 )	4 ( 3 ) 0.04 ( 0.03 )
伝染性紅斑	2 ( 1 ) 0.06 ( 0.03 )	14 ( 15 ) 0.14 ( 0.15 )
突発性発疹	5 ( 5 ) 0.16 ( 0.16 )	18 ( 11 ) 0.18 ( 0.11 )
ヘルパンギーナ	1 ( - ) 0.03 ( - )	1 ( 0.01 ) 0.01 ( 0.01 )
流行性耳下腺炎	1 ( - ) 0.03 ( - )	1 ( 0.01 ) 0.01 ( 0.02 )
急性出血性結膜炎	- ( - ) - ( - )	- ( - ) - ( - )
流行性角結膜炎	- ( 2 ) - ( 0.17 )	3 ( 3 ) 0.10 ( 0.10 )
感染性胃腸炎 (コタウイルスに限る)	2 ( - ) 2 ( - )	2 ( 1 ) 0.09 ( 0.04 )
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	- ( - ) - ( - )	- ( - ) - ( - )
細菌性髄膜炎	- ( - ) - ( - )	- ( - ) - ( - )
マイコプラズマ肺炎	- ( 1 ) - ( 1.00 )	2 ( 7 ) 0.09 ( 0.3 )
無菌性髄膜炎	- ( - ) - ( - )	- ( - ) - ( - )